富士山クラブ
活動報告書/収支報告書

2017年度

（2017.4.1～2018.3.31）

目　次

環境保全活動（富士山麓清掃活動） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

環境保全活動（外来植物駆除活動） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

環境教育活動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

森林保全活動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

ネットワーク活動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

広報活動 ・・・ 13

支援一覧 ・・・ 15

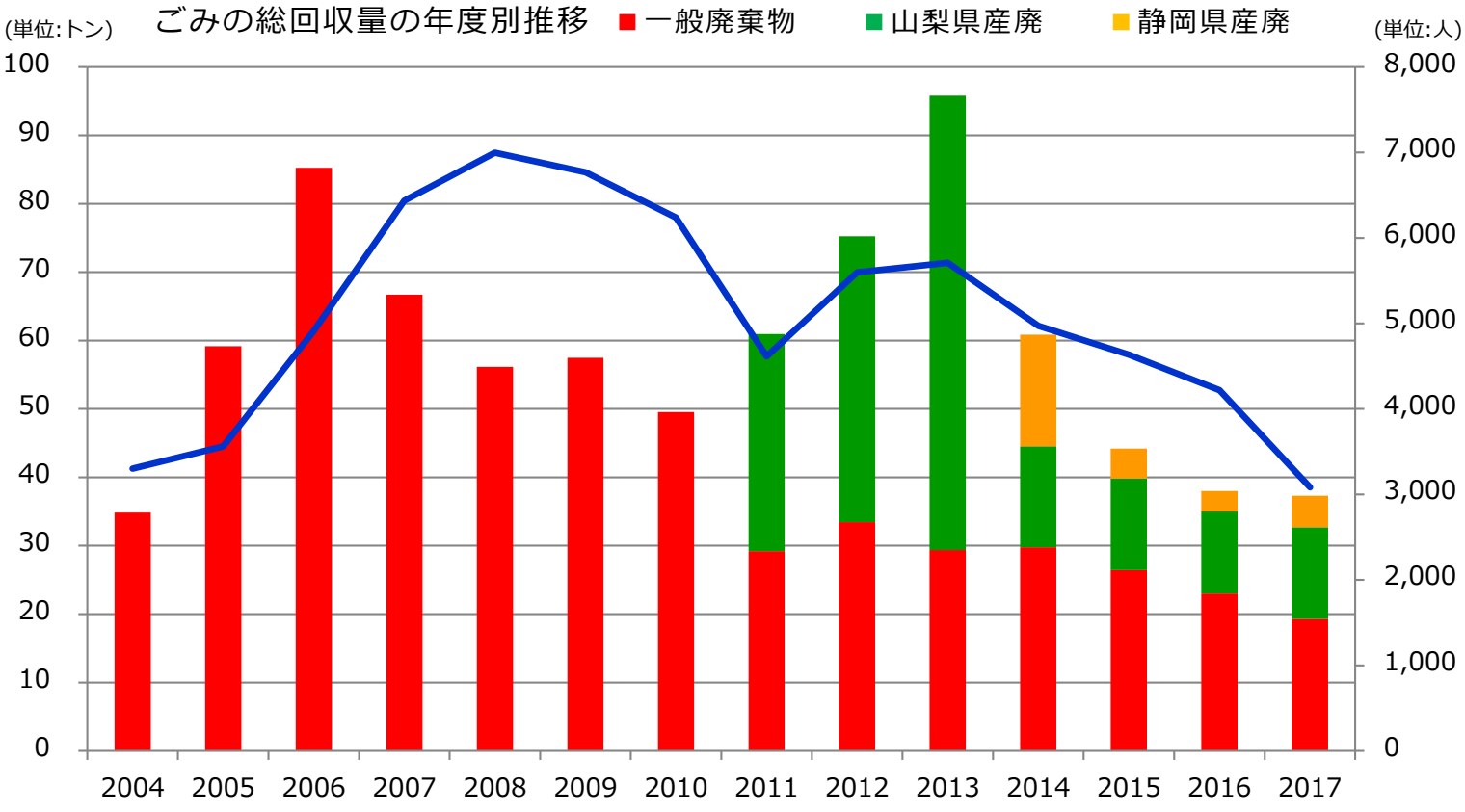
収支報告 ・・・ 16

環境保全活動　－　清掃活動

年間活動回数52回　3,084人が参加　ごみ回収量約37トン

富士山のごみ問題に取り組んで19年。統計を取り始めた2004年からの14年間で、約**71,050**人のボランティアの協力により、約**822**トンのごみを回収することができました。

富士山麓のごみ問題が改善されつつあるのを実感しながらも、引越しシーズンなどは特に、不要になった家財品の投棄は未だ散見され、路側帯への一般ごみのポイ捨ては常態化しています。県や地元自治体は、ごみの早期発・回収を訴えており、ごみを捨てにくい環境づくりを求めています。ボランティアのみなさんとの回収以外にも、日常のパトロール等により発見した不法投棄については、即時報告に努め、行政との連携をこれまで以上に強くしていきます。



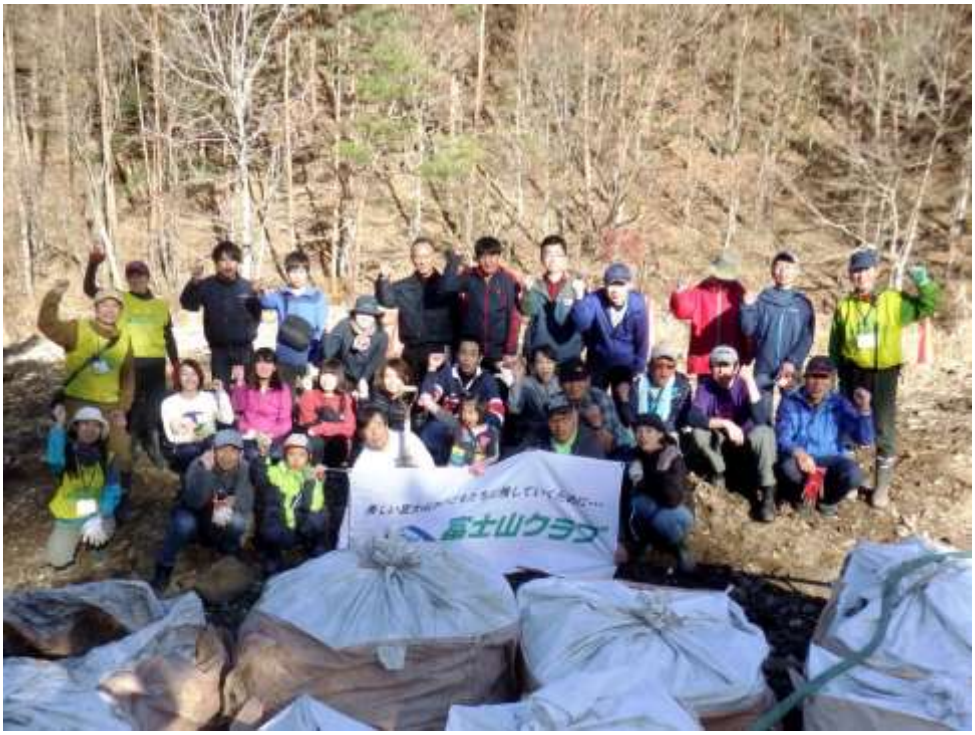
2017年度清掃活動一覧

山梨県での活動　静岡県での活動　両県での活動

NO.	月	日	団体名	人数(人)	重量(kg)
1	4	8	アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社	20	430
2		14	ワタキューグループ	146	580
3		15	定例クリーン活動	26	310
4		18	ヨークマート労働組合	11	410
5	5	14	日本におけるダイムラー・グループ	88	330
6		15	世田谷区立砧南中学校	130	1,670
7		20	静岡県労働金庫労働組合	46	90
8		22	イトーヨーカドー労働組合	17	600
9		24	株式会社静鉄ストア	47	120
10		27	TEAM FUJISAN クリーンキャンペーン 3776　野口健×若村麻由美 富士山清掃	108	1,700
11		28	亜細亜大学国際関係学部 体験から学ぶ地球環境論	46	180
12		31	プリモ・ジャパン株式会社	15	80
13	6	3	文化シヤッター株式会社	200	1,480
14		10	日立建機日本労働組合	7	70
15		17	東洋大学学生ボランティアセンター	49	50
16		17	JTBグループ労働組合（1回目）	31	380
17		18	東京新都心ロータリークラブ	26	170
18		24	富士電機グループ労働組合連合会	36	880
19		24	JTBグループ労働組合（2回目）	34	400
20	7	8	三菱UFJフィナンシャル・グループ	45	430
21		13	そごう・西武労働組合	16	550
22		16	コスモ アースコンシャス アクト クリーン・キャンペーン in Mt.FUJI	151	980
23		21	日本工営株式会社	97	1,010
24		22	定例クリーン活動	50	120
25	8	17	「地球の歩き方」の旅　富士山清掃活動	35	540
26		23	浜松剣道連盟	45	90
27		26	フィリップ モリス ジャパン合同会社	59	650
28		26	定例クリーン活動	10	70
29	9	2	丸紅株式会社	86	1,580
30		9	PGU 山梨・長野地区連	41	1,320
31		10	株式会社オートバックスセブン	41	460
32		14	片瀬建設株式会社	90	230
33		20	世田谷区立太子堂中学校1年生	20	410
34		30	ドコモ・グループ	153	4,540
35		30	ぐるり富士山風景街道一周清掃	29	80
36	10	6	サムスンC&Tジャパン株式会社	27	1,110
37		14	富士山クリーンプロジェクト2017	123	4,600
38		19	日本リユース業協会	186	490
39		21	定例クリーン活動	7	210
40		28	株式会社阪急交通社	34	160
41		28	SFPホールディングス株式会社＆ＯＡＧ税理士法人	39	940
42	11	8	世田谷区立尾山台中学校	100	2,130
43		11	みずほ証券株式会社	41	1,860
44		11	ぐるり富士山風景街道一周清掃	210	143
		11	定例クリーン活動	26	540
45		13	世田谷区立世田谷中学校ひなぎく学級	16	390
46		19	株式会社ポーラ	41	100
47		26	法政大学市ヶ谷ボランティアセンター	39	690
48	12	2	定例クリーン活動	24	330
49	1	17	定例クリーン活動	20	240
50	2	17	定例クリーン活動	25	20
51		24	株式会社ドコモＣＳ東海静岡支店	50	230
52	3	17	定例クリーン活動	25	40

年間活動総数 52回　参加人数 3,084人　回収ごみ量 37,213kg

環境保全活動　－　行政との協働



行政・市民のパートナーシップで山麓で長年放置されてきた大規模な産業廃棄物の撤去がすすんでいます

【山梨県】　大量の産業廃棄物や家庭ごみが、土で覆い隠された不法投棄現場。この現場におけるごみの撤去活動に取り組み続けて4年。確実に撤去完了範囲は広がっています。今年度は、活動17回、731人の清掃ボランティアのみなさんにご協力頂き、約13.5トンのごみを撤去することができました。

この現場における活動は、「山梨県富士山クリーンアップ事業」の一環として、山梨県が回収・処分費用を負担、ボランティアによるごみの分別と撤去作業、ごみ処理は山梨県産業廃棄物協会が協力。行政と市民が一丸となって、美しい自然を取り戻せるよう、取り組みを継続しています。

【静岡県】　県内企業や県民らに呼びかけ、富士宮市人穴地区の山林で、不法投棄されてから数十年以上経過したと思われる、仮設トイレやタバコの自動販売機、建設廃材などを、コンテナ2台分、約4.6トンのごみを回収しました。（静岡県富士山麓不法投棄廃棄物撤去事業費補助金事業）

また、2015年度に静岡県富士土木事務所と締結した「しずおかアダプト・ロード・プログラム」は3年目を迎え、富士市管内の国道469号線と県道24号線で、400人のボランティアのみなさんとともに、約1.5トンものごみを回収しました。

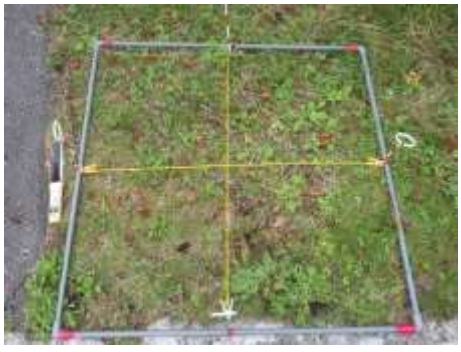
環境保全活動　－　外来植物駆除活動

行政や地域との連携がすすみ、取り組みのネットワークがひろがる
特定外来植物（アレチウリ・オオキンケイギク）を中心に、
駆除活動を13回実施、622人が参加し、駆除総量852.7kg

富士山の生物多様性を脅やかしている外来植物の駆除を続けています。企業のＣＳＲ活動として、静岡県側では国道469号線沿いのオオキンケイギク、山梨県側では河口湖畔のアレチウリ、西湖畔のオオキンケイギクの駆除活動を実施しました。静岡県においては、静岡県くらし・環境部 環境局 自然保護課 富士山保全班からの委託を受け、「富士山外来植物撲滅大作戦」の運営を担当し、特定外来植物を対象とした駆除のほか、新たな試みとして、セイヨウタンポポ・ヒメジョオンなど、山体に移入した外来植物の駆除活動を、二合目付近の西臼塚駐車場で実施しました。

【山梨県】　河口湖畔で繁茂が懸念される特定外来植物「アレチウリ」を駆除するため、当クラブが中心となり、富士河口湖町・富士山科学研究所・山梨県富士山レンジャーとともに、啓発・駆除活動を実施しました。

【静岡県】　環境省 沼津自然保護官事務所より、国立公園等民間活用特定自然環境保全活動事業としての委託を受け、富士山体の標高約1,900m～2,400mを範囲に活動を実施。宝永山火口周遊コース沿線における調査および、富士山スカイライン沿線における駆除作業を行いました。



環境教育活動　－　体験プログラム

富士山の自然を五感で体験、自然を楽しみ、大切にする心を育む

富士山の大自然の中に棲む生き物たちの営みや、火山としての富士山が作り上げた溶岩洞窟などを五感で体験するプログラムを、参加者の年齢や目的に合わせ、子どもから大人まで幅広い方々を対象にして、年間で20回実施、840人が参加しました。これらの活動の中では、清掃や外来植物駆除などの環境保全活動と組み合わせての実施が7回あり、富士山の素晴らしい面を実際に見ること、また、残念な部分を解決するための取り組みの両方を体験頂くことで、より感じること、得るものの大きな活動とすることができました。

ＮＰＯ法人リベラヒューマンサポート・キャンプ

コスモ石油エコカード基金エコツアー
1日目：南麓西臼塚　　2日目：北麓大室山

環境教育活動　－　学習プログラム

講義、ワークショップ、活動事前学習会などを通じて、富士山の自然環境について学び、問題解決のために行動する

富士山が抱える課題や問題解決のための取り組みなどについて伝えるため、学校や企業に出張しての講義やワークショップを年間8回行いました。また、清掃や外来植物駆除などの実践活動にあわせて、活動の意義をより深く理解してもらうことを目的とした事前学習会や活動後のふりかえり会を13回実施しました。

今年の講義例

- 富士山の自然
- 富士山の環境問題
- 富士山のごみ問題
- 生物多様性と外来種
- 産業廃棄物撤去事業（山梨県富士山クリーンアップ事業）
- 世界遺産の富士山で起きていること

スタッフ安全管理講習会・環境教育スタッフの養成

2018年の活動シーズン開始を前に、より安全で楽しく、質の高い活動を展開していくために、活動の指導やガイドを行う環境教育スタッフへの安全管理講習会を実施しました。この講習会には、2017年9月～2018年3月までに実施された環境教育スタッフ養成講座を受講・修了した、新しい4人のスタッフも加わりました。

森林保全活動　－　森づくり　（富士宮市北山工業団地内育樹）

下草刈り、蔓取り作業を継続中

富士山麓に、豊かな緑の木々を増やすことを目的として、富士宮市北山工業団地に1,500本の広葉樹の苗木を植えてから６年が経過しました。この木々を大切に育てていくために継続している下草刈りや蔓取りの作業、今年は、ボランティアのみなさんにご協力頂いての作業回数は計６回、動力機械を使用した作業は計４回実施しました。

ボランティアのみなさんによる活動においては、会員の方々をはじめ、地元企業や学校にお勤め・在学の方にも数多く参加していただく機会となり、活動の拡がりを感じました。さらに、刈払い機のみを使用した作業日を設けることで、より広範囲に渡る林内を整備することができました。

富士山地域で問題になっているニホンジカの食害も少なく、サクラ、ヒメシャラ、カエデ、ヤマグリなど、多種多様な樹木がすくすくと成長しています。

作業前　植林木よりも高く雑草が茂る

作業後　植林木が育ちやすい環境に

－本活動は、コスモ石油エコカード基金「富士山の森を守るプロジェクト」として実施しました－

森林保全活動　－　森づくり　（西臼塚ふれあいの森）

かつての富士山の森復元を目指して…
西臼塚ふれあいの森で人工林間伐を中心とした作業を行っています

　静岡県側の富士山、標高1,200m付近にある西臼塚ふれあいの森は、静岡森林管理署が管轄する国有林の一部を、2000年より富士山クラブが同署と協定を結び管理している、広さ1.77haの森です。

　この場所は、1996年9月の台風17号による風倒被害を受けており、協定締結当初は植樹や下草刈りなどを中心に活動を行っていました。近年は、ニホンジカによる樹皮剥ぎ被害や、移入種の植栽などの新たな問題に対処する活動を続けています。

　昨年からは、3年計画で、協定林内のウラジロモミを一部間伐し、針葉樹と広葉樹がバランスよく混在する、富士山本来の森の姿を復元するための活動を開始しました。2017年は10日間の間伐作業を実施、合計60本を伐採しました。樹種や生育状況の調査については、ＮＰＯ法人「富士山の森を守るホシガラスの会」の協力のもとに実施しています。

－本活動は、コスモ石油エコカード基金「富士山の森を守るプロジェクト」として実施しました－

ネットワーク活動　－　連携と協働

官学民のネットワークを活かして富士山の環境保全にむけて連携強化、協働して課題に取り組む

富士山の自然環境保全のために、地域の市民団体、協議会、行政（国、両県、市町村）とのネットワークを通じて、意見交換や情報交換、活動成果を共有し、富士山全域での自然環境保全をすすめるために、協働して、調査活動、政策提言、実践活動を行っています。

・第３回ぐるり富士山風景街道一周清掃　１０月～１１月　【写真左・上下】
ごみ問題への富士山全域での取り組みとして、昨年に引き続き、第３回「ぐるり富士山風景街道一周清掃」を実施しました。環境省や林野庁などの担当者も参加、両県民や県外からのボランティアが多く協力しました。-富士急行株式会社から協賛を頂き実施しました-

・第７回アジア３Ｒ推進市民ネットワーク日本大会　１０月（大阪）【写真中・上】
（アジア/太平洋地域のごみ問題に取り組むNGOネットワーク）
富士山クラブが事務局を務め、大阪にて、「地域から解決　みんなでつくるごみゼロなライフスタイル」と題してフォーラムを開催、関西で実施されたイベントでのごみゼロの取り組み、海岸清掃と啓発活動、海外でのプラスチックごみ削減の取り組みなどの事例発表のほか、富士山クラブ関西会員も参加し、ごみゼロの取り組みについて議論しました。

・海ごみ・プラスチックごみ削減に向けた準備会　１８年３月（山梨）【写真中・下】
山梨県内でごみ問題（清掃活動、リユース食器推進、啓発活動、気候変動）に取り組む市民団体が集まり、プラスチックごみの削減や海のマイクロプラスチック問題に協働して取り組むためにネットワーク発足準備会を行いました。１８年度設立、山梨県や関係団と連携しながら、山梨県（富士山）から発信し、問題解決に取り組みます。

・富士山吉田口五合目で、ごみに関する観光客の動向調査実施　８月～９月　【写真右・上下】
五合目への来訪者数が４００万人を超える現状の中、登山者だけでなく五合目の観光客のごみについて問題が起き始めています。環境省富士五湖自然保護官事務所と連携し、登山者の動向調査をしている研究者とともに、五合目観光客へのごみに関するアンケート調査を実施、報告書にまとめました。分析結果は１８年度からの排出削減実証実験に活かします。

ネットワーク活動　－　研修・人材育成・活動コーディネート

富士山をモデルに環境や地域を学ぶ
富士山を眺望するトレイルをみんなで整備する地域支援エコツーリズム

富士山クラブの人的ネットワークを活用し、富士山をモデルに環境、自然、文化、歴史など、横断的に学ぶプログラム、日本で学ぶ留学生や日本人大学生らを対象にした、地域課題解決プログラム、地域の子どもを対象にした国際理解教育プログラムなど、研修・人材育成プログラムを実施しました。

・ルイス＆クラーク大学　日本・富士山研修　７月～８月　【写真左・上】
富士山（静岡・山梨）及び周辺地域（東京・神奈川）で、日本及び富士山を教科横断的に学ぶ日本研修プログラム（７週間）をコーディネートしました。

・早稲田大学国際留学生寮ＷＩＳＨ研修　９月　【写真左・下】
早稲田大学国費留学生研修　１８年２月
日本に滞在する留学生向けに地域課題解決を課題として学ぶプログラムを提供、今年度は急増する外国人観光客受け入れの課題についてフィールド研修及び関係者との討論を実施しました。

・富士河口湖町国際理解教育　【写真中・上下】
サマーキャンプ　８月　　交流プログラム　１２月/１８年２月
地元の子どもたちを対象に、富士山や自分の暮らす地域をテーマに選び、さまざまな国の留学生と交流し、国際理解を促進する教育プログラムを実施しました。山梨大学、早稲田大学、立命館アジア太平洋大学の留学生たちが協力してくれました。

・富士山西麓観光資源輝き協議会結成
（富士山クラブ、身延町、環境省、地元観光協会、地域住民団体等で組織）
トレイル整備でエコツーリズム　７月、１０月　【写真右・上下】
富士山の登山者数管理が課題となる中、富士山の楽しみ方の一つとして、富士山を眺める周りの山の登山道を整備するボランティアプログラムを協議会として実施。地域に滞在し、地域の人々と交流しながら、地域の環境や自然の価値を守っていくエコツーリズムをめざしています。

中之倉峠
千円札の富士 撮影地へ快適に
協議会で登山道整備

ネットワーク活動　－　会員活動

会員の皆さんと富士山クラブの活動を多くの人へ広げています

富士山クラブの会員が中心となり、富士山を楽しむことから仲間を増やし、富士山への理解を呼びかけています。

・神田紫さんと行く富士登山 2017（8月）　【写真左・上下】
　今年度は当クラブ理事であり講談師である神田紫さんが富士山頂で行う富士山創作講談１０周年となりました。

・富士山を眺める登山（5月・6月・７月・１１月））　【写真中・上下】
　江戸時代の富士講にちなんで富士登山の際にその道中登った高尾山、大山に登りました。富士山の三合目から五合目へ、初夏と秋に歩きました。

・会員が中心となって、首都圏や富士山周辺で行われているイベント会場のブースで、富士山クラブの活動紹介、富士山の環境保全のための募金や富士山クラブ入会を呼びかけました。
例）富士山ロングライド　９月　【写真右・上】

・会員の特技や技術を活かして、地域のイベントで子ども向けのワークショップを開催しました。
例）学びのフェス　４月、８月　【写真右・下】

・もりの学校では有志が集まり、１１月には新そばを楽しみ、１２月と３月に断捨離＆大掃除を実施しました。　【写真下】

富士山の日（２月２３日）に、東京にて富士山の現状と課題を考える富士山の日フォーラムを開催

今年度の富士山の日(2月23日）イベントは、都内港区神明いきいきプラザにて「山頂から想う　富士山の今」と題して開催しました。

第１部では、夏は富士山の山小屋に勤めながら山頂の写真を撮り続けている、富士山写真家の小岩井大輔氏を迎えて、富士山頂から撮影した写真の数々を見せていただきながら、撮影のエピソードを交えてお話頂きました。また、数年の間に大きく変わったと感じる山頂にやってくる登山者の動向の変化、環境の変化についても、お話頂きました。

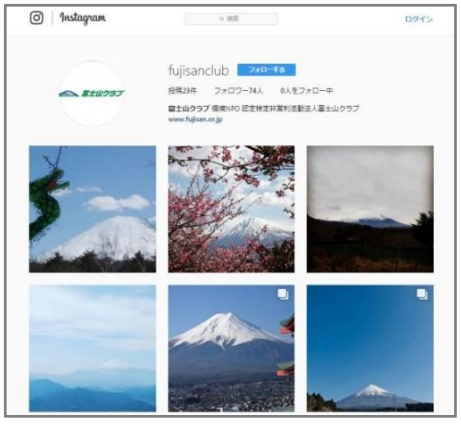
第２部では、当クラブ理事であり、富士登山・エコツアーガイドの第一人者である近藤光一が加わり、会場の聴衆を巻き込んで、美しい富士山の自然や景観について、また共に富士山で１０年以上働くなかで、感じたこと、富士山の抱える問題などを二人に語っていただきました。

－ 富士山の日フォーラムは富士急行株式会社の協賛を受けて実施しました。－

世界遺産候補地にて、地域の自然環境保全のためにＮＰＯの果たす役割について講演

世界遺産そして国立公園としての富士山の抱える課題、そして環境保全への取り組みについて、ＮＰＯが果たす役割、そして継続して行っている活動について、他の世界遺産候補地域の皆さんと共有、意見交換しました。長崎県の皆さんからはヒアリングを受け、鹿児島県徳之島では、講演後、関係者の皆さんと意見交換を行いました。

広報活動　－　情報発信



富士山クラブの活動、企業・団体の環境保全活動ブログ、会員活動、富士山の日々の写真など、誌面、ＷＥＢ、ＳＮＳを通じて、日々発信しています

■富士山クラブ通信（年4回発行）【写真：左上】
■ホームページ　　（イベント情報、活動ブログを都度更新）【写真：右上】
■ＳＮＳ：・フェイスブック【写真：左下】
　　・ツイッター　【写真：右中】
　　・インスタグラム　【写真：右下】
（ＨＰイベント情報・活動ブログ転載、富士山情報発信、フォロワーのコメントに回答）
■会員向けメールマガジン　（毎月適宜発信）

多くの市民・企業の皆さまから、募金や寄付を頂きました。富士山の自然環境の保全・保護・再生のために、富士山クラブの活動に大切に活用させて頂きました。これからも皆さまからの応援や期待に応え、活動を充実させ、さらに推進していきます。ご支援を心より感謝いたします。（支援企業・団体ご紹介はあいうえお順）

助成金
コスモ石油エコカード基金（富士山の森を守るプロジェクト）

寄付
アサヒ飲料株式会社富士山工場（森林保全）
アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社（環境保全、環境教育、森林保全）
イオン甲府昭和店　イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン（活動全般）
エフエム東京株式会社（活動全般）
小平市立学園東小学校 代表委員（環境保全）
NPO法人さわやか青少年センター　ふれあいボランティアパスポート（環境保全）
株式会社JR東日本情報システム（環境保全）
積水化学工業株式会社（活動全般）
一般財団法人セブン-イレブン記念財団（活動全般）
林製紙株式会社（環境保全）
フィリップ モリス ジャパン合同会社（活動全般）
富士電機株式会社（環境保全）
豊上製菓株式会社（環境保全）
マックスバリュ東海株式会社　イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン（活動全般）
有限会社T.M.WORKS（活動全般）

その他個人からの寄付　計35件
富士山水と緑と命の基金（募金箱設置店、個人）　計33件

協賛・協力
富士急行株式会社（ぐるり富士山風景街道一周清掃協賛、富士山の日イベント協賛）
株式会社毎日新聞社（富士山クラブ通信協賛広告）
コスモエネルギーホールディングス（森林保全）

補助金
山梨県「富士山クリーンアップ事業費」
静岡県 ふじさんネットワーク「富士山環境保全活動推進事業費」

2017年度　貸借対照表

特定非営利活動法人富士山クラブ

2018年3月31日現在

（単位：円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	18,384,203		
貯蔵品	201,884		
前払金	3,150		
未収金	1,641,993		
前払費用	993,018		
流動資産合計		21,224,248	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
建物附属設備	28,261,879		
構築物	359,100		
車両運搬具	14,768,353		
什器備品	807,548		
一括償却資産	32,844		
建設仮勘定	2,385,000		
減価償却累計額	△ 33,248,269		
有形固定資産計	13,366,455		
(2)無形固定資産			
電話加入権	55,000		
敷金	150,000		
長期前払費用	55,750		
ロゴ商標権	59,734		
無形固定資産計	320,484		
(3)投資その他の資産			
環境基金積立預金	11,183,496		
投資その他の資産計	11,183,496		
固定資産合計		24,870,435	
資産合計			46,094,683
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,398,331		
預り金	369,372		
前受金	500,000		
未払法人税等	142,000		
未払消費税等	387,500		
流動負債合計		3,797,203	
負債合計			3,797,203
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産（一般+指定）		49,032,357	
当期正味財産増減額		△ 6,734,877	
正味財産合計			42,297,480
負債及び正味財産合計			46,094,683

2017年度 財産目録

特定非営利活動法人富士山クラブ

2018年3月31日現在

（単位：円）

科　目	口座番号	金　額		
Ⅰ 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金				
手許現金		174,695		
みずほ銀行神谷町支店　普通預金	2652107	7,408,938		
山梨中央銀行河口湖支店　普通預金	446164	76,768		
ゆうちょ銀行　普通預金	12300-36832401	9,274,617		
ゆうちょ銀行　普通預金	12340-34872521	0		
ゆうちょ銀行　普通預金	12820-10093261	1,000,000		
ゆうちょ銀行鳴沢郵便局　郵便振替貯金	00840-6-121512	378,015		
ゆうちょ銀行鳴沢郵便局　郵便振替貯金	00870-8-13047	71,170		
貯蔵品				
グッズ　缶バッチ		75,384		
グッズ　Tシャツ		123,098		
グッズ　リボンマグネット		3,402		
前払金				
高速バス回数券		3,150		
立替金				
未収金　活動他請求分		1,641,993		
前払費用				
家賃　本部		500,000		
家賃　静岡事務所		50,000		
次年度事業費		443,018		
流動資産合計			21,224,248	
2. 固定資産				
有形固定資産				
建物付属設備　もりの学校設備		28,261,879		
減価償却累計額		△ 17,932,943		
構築物　もりの学校設備		359,100		
減価償却累計額		△ 348,327		
車両運搬具　環境保全パトロールカー5台		14,768,353		
減価償却累計額		△ 14,241,275		
什器備品　もりの学校設備		807,548		
減価償却累計額		△ 725,724		
一括償却資産　プロジェクター		32,844		
建設仮勘定　WEB教材仕掛		2,385,000		
無形固定資産				
ロゴ商標権		59,734		
投資その他の資産				
電話加入権　5回線		55,000		
敷金　静岡事務所		150,000		
長期前払費用　車両リサイクル預託金5台分		55,750		
環境基金積立預金	長期目的積立金			
スルガ銀行ドリームダイレクト支店　普通預金		1,183,496		
スルガ銀行ドリームダイレクト支店　定期預金		10,000,000		
固定資産合計			24,870,435	
資産合計				46,094,683
Ⅱ 負債の部				
1. 流動負債				
未払金				
給料、慰労金		1,612,452		
旅費交通費		209,298		
社会保険料		267,960		
通信運搬費		43,388		
光熱水料費		34,167		
消耗品費		6,666		
夢債券		224,400		
前受金				
コンサベーションアライアンスジャパン　助成金		500,000		
預り金				
源泉所得税・住民税		105,460		
社会保険料		263,912		
未払法人税等				
法人住民税		142,000		
未払消費税		387,500		
流動負債合計			3,797,203	
負債合計				3,797,203
正味財産				42,297,480

2017年度　活動計算書 （一般正味財産の部）

特定非営利活動法人富士山クラブ

2017年4月1日～2018年3月31日

（単位：円）

科　目	2017年度 予算	2017年度 実績	2017年度 予算差異	備考、構成比
Ⅰ 経常収益				
1. 受取会費	5,710,000	4,260,000	△ 1,450,000	12.6%
正会員受取会費	3,000,000	2,081,000	△ 919,000	過大予算計上
賛助会員受取会費	2,710,000	2,176,000	△ 534,000	
学生会員受取会費	0	3,000	3,000	
2. 受取寄付金	4,400,000	4,324,263	△ 75,737	12.8%
受取寄付金	4,400,000	4,324,263	△ 75,737	
3. 受取助成金等	5,560,000	3,796,812	△ 1,763,188	11.3%
受取民間助成金	3,460,000	2,696,944	△ 763,056	粟井財団辞退▲69万
受取地方公共団体補助金等	2,100,000	1,099,868	△ 1,000,132	ふじさんNW▲100万
4. 事業収益	22,890,534	18,153,523	△ 4,737,011	53.9%
環境保全活動収入	14,953,710	11,242,991	△ 3,710,719	大口減、荒天中止増
環境教育活動収入	3,358,824	2,925,720	△ 433,104	
森林保全活動収入	0	0	0	
ネットワーク活動/受託事業収入	3,958,000	3,705,092	△ 252,908	3Rインド延期▲、富士登山50万
広報活動収入	620,000	279,720	△ 340,280	
5. その他収益	2,886,360	3,147,424	261,064	9.3%
協賛金収入	2,236,360	2,335,360	99,000	協賛3社
受取利息	1,000	1,038	38	
雑収入	399,000	609,142	210,142	
期末貯蔵品棚卸	250,000	201,884	△ 48,116	Tシャツ8万、缶バッチ12万
経常収益計	41,446,894	33,682,022	△ 7,764,872	100%

2017年度　活動計算書　（一般正味財産の部）

特定非営利活動法人富士山クラブ

2017年4月1日～2018年3月31日

（単位：円）

科　目	2017年度 予算	2017年度 実績	2017年度 予算差異	備考、構成比
Ⅱ 経常費用				
1. 事業費	25,836,936	21,838,480	△ 3,998,456	54.0%
(1)人件費	15,492,951	14,256,457	△ 1,236,494	35.3%
職員給与	10,848,000	10,870,477	22,477	
臨時雇賃金	2,944,951	1,614,250	△ 1,330,701	
法定福利費	1,700,000	1,771,730	71,730	
(2)その他経費	10,343,985	7,582,023	△ 2,761,962	18.8%
各事業共通項目	3,090,000	2,639,464	△ 450,536	6.5%
旅費交通費	510,000	496,679	△ 13,321	
通信運搬費	5,200	257,203	252,003	
消耗品費	204,000	160,630	△ 43,370	
修繕費	254,000	427,577	173,577	
光熱水料費	306,000	170,687	△ 135,313	
租税公課	204,000	176,825	△ 27,175	
保険料	540,000	266,039	△ 273,961	
賃借料	932,800	516,750	△ 416,050	
支払手数料	52,000	20,377	△ 31,623	
雑費	82,000	146,697	64,697	
環境保全活動	2,651,948	1,336,159	△ 1,315,789	3.3%
清掃活動	1,525,000	1,164,820	△ 360,180	
五合目ごみ調査	0	63,017	63,017	
定例クリーン活動	0	1,410	1,410	
外来種駆除活動	205,500	106,912	△ 98,588	
アレチウリ駆除活動	733,728	0	△ 733,728	粟井財団助成辞退▲73万
アレチウリ調査活動	187,720	0	△ 187,720	粟井財団助成辞退▲19万
森づくり活動		0	0	コスモ助成
環境教育活動	117,160	202,690	85,530	0.5%
トレッキング	0	60,533	60,533	
自然体験	9,000	108,285	99,285	
講演	105,000	26,220	△ 78,780	
登山	0	0	0	
スタッフ養成・研修	3,160	7,652	4,492	
森林保全活動	2,026,877	1,145,871	△ 881,006	
森づくり活動	2,026,877	1,145,871	△ 881,006	コスモ助成　物置・工具77万
ネットワーク/受託事業	1,538,000	1,470,721	△ 67,279	
国内活動	423,000	542,298	119,298	
国外活動	1,105,000	269,473	△ 835,527	3R延期▲47万、ルイス＆クラーク▲27万
交流活動	10,000	658,950	648,950	登山55万、ウォーク6万
広報活動	920,000	787,118	△ 132,882	
ホームページ	75,000	17,280	△ 57,720	
富士山クラブ通信	470,000	469,552	△ 448	
富士山の日フォーラム	300,000	87,779	△ 212,221	会場費・交通費▲20万
イベント出展、講演	35,000	165,110	130,110	
グッズ製作	40,000	42,897	2,897	
パンフ製作	0	4,500	4,500	

2017年度　活動計算書　（一般正味財産の部）

特定非営利活動法人富士山クラブ

2017年4月1日～2018年3月31日

（単位：円）

科　目	2017年度 予算	2017年度 実績	2017年度 予算差異	備考、構成比
2.　管理費	15,522,111	18,578,419	3,056,308	46.0%
(1)人件費	11,434,000	12,284,677	850,677	
＊　職員給与	9,880,000	9,639,856	△ 240,144	
臨時雇賃金	0	0	0	
＊　法定福利費	1,504,000	1,571,157	67,157	
慰労金	0	1,000,000	1,000,000	
福利厚生費	50,000	49,664	△ 336	
研修費	0	24,000	24,000	
(2)その他経費	4,088,111	6,293,742	2,205,631	
会議費	150,000	272,025	122,025	理事会・予算会議10万
渉外費	30,000	19,813	△ 10,187	
＊　旅費交通費	291,200	466,017	174,817	
＊　通信運搬費	21,000	245,240	224,240	
＊　消耗品費	57,000	271,401	214,401	
＊　修繕費	46,000	379,171	333,171	
＊　光熱水料費	55,000	151,364	96,364	
諸会費	20,000	20,000	0	
＊　租税公課	850,000	1,115,607	265,607	
顧問料	129,600	129,600	0	2016年度決算報酬
＊　保険料	96,368	235,921	139,553	
＊　賃借料	167,200	458,250	291,050	
＊　支払手数料	120,000	126,014	6,014	
＊　雑費	89,636	202,492	112,856	前年度助成返金7万
広報費		0	0	
減価償却費	1,360,000	1,595,720	235,720	
期首貯蔵品棚卸	605,107	605,107	0	
予備費	0	0	0	
経常費用計	41,359,047	40,416,899	942,148	100%
当期一般正味財産増減額	87,847	△ 6,734,877	△ 6,822,724	
前期繰越一般正味財産額	31,028,997	31,047,197	18,200	
指定正味財産からの振替額	0	1,230,000	1,230,000	学校修繕23万、森づくり100万
指定正味財産への振替額	0	0	0	
次期繰越一般正味財産額	31,116,844	25,542,320	5,574,524	

2018年3月31日現在

2018年度　活動予算書（指定正味財産の部）

特定非営利活動法人富士山クラブ

2018年4月1日～2019年3月31日

（単位：円）

科　目		2017年度 実績	2018年度 予算	前年度比	備考
1	**前期繰越**	**17,985,160**	**16,755,160**	**△ 1,230,000**	
	もりの学校修繕積立金	1,678,630	1,448,630	△ 230,000	
	森づくり資金積立金	3,150,000	2,150,000	△ 1,000,000	
	車両維持資金積立金	5,156,530	5,156,530		
	20周年記念積立金	1,000,000	1,000,000		
	新規活動資金積立金	7,000,000	7,000,000		
2	**一般正味財産からの振替額（増加額）**	**0**	**0**	**0**	
3	**一般正味財産への振替額（減少額）**	**1,230,000**	**1,000,000**	**△ 230,000**	
	もりの学校修繕積立金	230,000		△ 230,000	
	森づくり資金積立金	1,000,000		△ 1,000,000	
	車両維持資金積立金	0		0	
	20周年記念積立金	0	1,000,000	1,000,000	20周年記念開催
	新規活動資金積立金	0		0	
4	**次期繰越**	**16,755,160**	**15,755,160**	**△ 1,000,000**	
	もりの学校修繕積立金	1,448,630	1,448,630	0	
	森づくり資金積立金	2,150,000	2,150,000	0	
	車両維持資金積立金	5,156,530	5,156,530	0	
	20周年記念積立金	1,000,000	0	△ 1,000,000	
	新規活動資金積立金	7,000,000	7,000,000	0	

2018年3月31日現在